

令和元年度特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報活用普及功労者】

一般社団法人化学情報協会 理事／情報事業部長
上野 京子

功績

一般社団法人化学情報協会に入社され、配属された情報分析部では、「データベースを作る仕事」に従事し、そのデータに関する知識を見込まれ、当時からオンライン情報部（現 情報事業部）の「CA（Chemical Abstract）やSTNの使い方の講師」業務のヘルプ依頼を受けられ、その延長として、1994年にオンライン情報部へ異動されました。その後は、化学情報協会が販売代理を行っているSTNやSciFinderのヘルプデスクやセミナー講師等の業務に従事され、化学物質構造検索に代表される複雑な操作方法が多く、データベースにおける索引の理解を必要とする化学の特許情報調査に関し、分かりやすい説明、丁寧に正確な対応でユーザーの皆様からの絶大な信頼を得られました。

上野氏は、STN等の利用方法のヘルプやセミナー講師のみならず、「化学分野における情報検索のポイント」や「科学技術情報の重要性」といった内容の講義やセミナーも行われており、化学分野における特許情報の活用およびその普及に関し、多大なる貢献をしてこられました。

また、上野氏は、「化粧品技術基礎講習会」の講師をつとめたり、「フレグランスジャーナル」における新技術の開発動向の記事において、特許情報の調査担当としてたずさわると、特許情報業界の外の世界に特許情報の重要性を発信している点でも、特許情報の普及・活用に大きな貢献をされています。

この度の「特許情報活用普及功労者賞」受賞に当たり、この仕事を通じてお世話になりましたすべての皆様に心よりお礼申し上げます。

データベース作成業務に従事していた私が初めてその使い方を教えたときに痛感したのは「如何にこだわってデータベースを作っても、使う立場の方が活用できなければ意味がない」ということでした。そしてその思いを胸に、利用者がデータベースを最大限活用するための情報提供とサポート、データベースの改善要望の製作元への提言などの活動を行ってまいりました。その活動が少しでも特許情報の活用普及に繋がったのであれば幸いです。

AIへの期待が膨らむ中、データベースの活用の幅はますます広がっています。これからも微力ながらその活用普及に貢献できればと考えております。この度は本当にありがとうございました。

